

誌上で
見学

グループホーム戸板って こんなところ!

グループホームは認知症の方が共同で生活をする場所です。
18名の方が暮らすコープいしかわの福祉施設
グループホーム戸板を機関紙企画検討委員が
見学し、発見したことを紹介します。

機関紙企画検討委員
畑中さん

日々のんびりと各自の
ペースで過ごされていていいな。
職員も制服ではなく私服で家庭的。
そんな中でも体調管理や施設の管理などは
しっかりとされていて感心!

リビング



みんなで動画を観ながら童謡や演歌に合わせて体を動かしていました。ソファでテレビを見たり、カラオケをしたり、ピンポンをしたり、風船バレーやペットボトルのボウリングなどをして盛り上がることもあります。

決められた時間に
何かをしなければいけないのではなく、
みんながそれぞれしたいことをして、
ごく普通の家で生活している
感じてほっこりするわ



キッチン



「〇〇さん、ごはん混ぜてもらっていい？」食事の準備や後片付けは「やりたい」という気持ちに合わせて声をかけ、一緒にします。

生協10の
基本ケア
4

食事は普通食、刻み食(粗め、細かめ)、ミキサー食、とろみ付け(弱め、強め)など、個人の状態に合わせて作っています。



四季の行事を
きちんと楽しんで
過ごされていて
うらやましいな

最初は自分からしたいというよりは、何かできることはないかなと入居者と話し合っていく中で見つけるようにしています。好きなことや夢中になれることがあると生きがいにつながります。

生協10の
基本ケア
8

お庭



畑や庭いじりが好きな方は敷地内の畑を手伝ってくれたりします。観察日誌をつけていた人もいます。



キッチンとリビングが一緒になっていて、みんなでだんらんしながら食事をしています。食べ終わると食器をキッチンまで下げる方、茶碗を洗う方も。

朝食は
7時30分頃からですが、
朝が弱くて朝食兼用の
ランチをする人も
いますよ



町出
施設長



足がしっかり床につくように、椅子やテーブルの脚を調節して身体に合わせます。

生協10の
基本ケア
2

トイレ



オムツではなくトイレで排泄する“あたりまえ”の習慣で自尊心が高まるサポートをします。

生協10の
基本ケア
3

足をしっかり
つけて座ることは、
脳が働き、日常の
動作を維持
します

前傾姿勢を支える折りたたみ式のテーブルが設置されています。

浴室

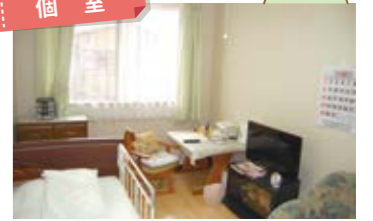


手すりは湯気の中でも分かるように目立つ色にしています。ゆったり湯船に浸かっている時は「今日は寒かったね」など会話を大切にしています。

生協10の
基本ケア
5

床が木目調だし、
自宅に使っていたソファなども
持ち込めるので、自分の部屋
みたい

個室



機関紙企画検討委員
角野さん

病院だと食べないと下げられてしまうけど、ここでは食べたい時に食べられるのね

安心して暮らせるように

ご本人が望んでここに来ることはほぼなく、家族に説得されて来る人がほとんどです。家に帰りたい気持ちはあります。だんだんわかりづらくなって、家族が面会に来たことすら忘れる場合もあります。ご本人がそれで葛藤し不安になることもあります。ここでみんなと一緒にいたら大丈夫と思ってもらえるようにしたいと思っています。

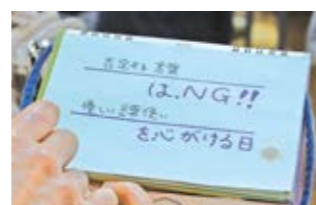
生協10の
基本ケア
9

最期の時間も自分らしく

最期を迎える時病院でなく、家に帰りたいという人もいます。家族も交えて話し合いをし、ご本人の気持ちに寄り添いながら準備をしていきます。

生協10の
基本ケア
10

日頃のケアで職員が心がけていること



▲職員が心がけることを1人ずつ考え、日めくりカードにしました。毎日交替時に読み上げています。

普段の生活そのものをリハビリと捉え、できるだけ自力で行ってもらおうようにしています。職員は足りない部分を介助するという考え方に立ち、時間がかかっても見守るようにしています。

日めくりのコメントには
耳の痛いものや親の介護をしている
時に知りたかった言葉がたくさんあるね。
手作り感もあってとっても良いね。
入居者さんにとって良いことを
職員の皆さんで共有していることが
すばらしい!

開設当初からどんな施設にするか試行錯誤を重ね、10年を経て職員も必要なものが見えてきました。カードは徐々に増えていったんですよ

地域との交流

社会的な豊かさを保つために、地域の人たちとの交流を大切にしています。

地域のチアダンスチームが玄関前の▶
駐車場でダンスを披露してくれました。



▲ご家族・地域の方が来場した10周年祭

生協の福祉が大切にすること

生協10の基本ケア

いつまでも自分らしい生活を送りたい。そんな誰もが持つあたりまえの思いに寄り添い実現するために、「生協10の基本ケア」は生まれました。日常生活そのものをリハビリと捉え、できるだけ自力で行ってもらい、足りない部分を介助しています。1から10までのケアを実践していくことで、家族や地域の人々と関わりを持ち、自分らしい普通の暮らしができるようめざすものです。

- 1 換気をする
- 2 床に足を付けて座る
- 3 トイレに座る
- 4 あたたかい食事をする
- 5 家庭浴に入る
- 6 座って会話をする
- 7 町内におでかけをする
- 8 夢中になれることをする
- 9 ケア会議をする
- 10 ターミナルケアをする

生協10の
基本ケアを
もっと知りたい

